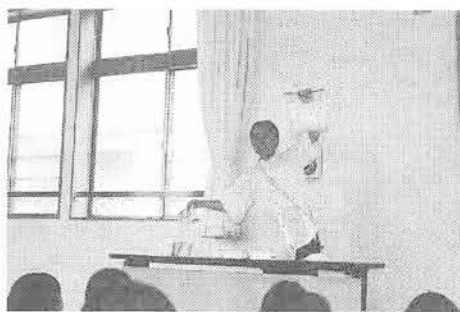


高浜の小学校で環境授業

おとうふ工房
いしかわ プラ容器の再資源化紹介

【刈谷】大豆加工品の製造販売を手掛ける、おとうふ工房いしかわ（本社高浜市）は9日、高浜市の吉浜小学校で環境をテーマにした授業を実施した。環境問題への意識を高めてもらう狙い。

社長室室長の石川麻利江氏が登壇し、自社で作成し



豆腐容器を再資源化する流れを紹介した

た冊子を利用しながら、豆腐を入れるプラスチック容器の回収から再資源化までの取り組みを紹介。具体例として、容器工場で廃棄される豆腐容器からつくった丸い定規を披露し、児童たちに寄贈した。

石川氏は「使い方が分か

らないから捨てようという発想ではなく、一人一人が考えて、できることをしていくことが環境問題の解決につながる。本日の話が、少しでも環境問題に取り組みきつかけになつてほしい」と呼び掛けた。

同小学校の鈴木剛校長は「こうした機会は本当にありがたい。未来を生きる子どもたち自身が環境のことを真剣に考えてもらえれ

ば」と話していた。

同社は、環境配慮の取り組みに力を入れている。2023年から豆腐容器を順次、プラスチックの使用量を減らした仕様に変更。また、「くるりんパック事業」の名称で、廃棄される豆腐容器を一般家庭や学校から回収し、新たな製品に再生させる企画をスタートした。